

創立 1980年10月8日



ROTARY CLUB OF SAKAI NORTH

第2640地区 堺北ロータリークラブ週報

事務所 〒590-0940 堺市堺区車之町西2丁1番30号 ポピア南海3階302号
Tel (072) 223-2300 番 Fax (072) 223-5005 番
URL : <http://www.sakai-kita.jp/>
E-mail : snrc@jasmine.ocn.ne.jp

例会日 毎週金曜日 午後0時30分
例会場 南海グリル 天兆閣別館 4階「ローズ」 Tel:(072)222-0131 番 (代表)
ガバナー(第2640地区) : 福井 隆一郎
ガバナー事務所 URL : <http://rid2640g.com/fukui/>
E-mail : fukui2016@wind.ocn.ne.jp

会長: 中田 学 幹事: 笹山悦夫 広報委員長: 坂田兼則 編集者: 山ノ内修一

四つのテスト 言行はこれに照らしてから 1.真実かどうか 2.みんなに公平か 3.好意と友情を深めるか 4.みんなのためになるかどうか

本日の例会

2017年3月24日(金)第1747回

卓話 「太陽光蓄電池エネルギーマネジメントを取り入れたこれからの住宅」

卓話者 二原 和弘様

紹介者 辰 正博会員

今週の歌 「我等の生業」「朧月夜」

お客様の紹介

出席報告・会長の時間

委員会報告・幹事報告・SAA報告

○表彰 米山功労クラブ

第30回米山功労クラブ(堺北RC)

次週の例会

2017年4月7日(金)第1748回

「ロータリー雑誌フォーラム」

坂田兼則広報委員長

*2017年3月31日(金)は、
定款第6条第1節により休会です。

前回の例会

2017年3月17日(金)第1746回

卓話 「我等の世代 PART IV」

卓話者 木畑 清会員

今週の歌 「我等の生業」「埴生の宿」

お客様の紹介

出席報告・会長の時間

委員会報告・幹事報告・SAA報告

<3月17日(金)の出席報告>

会員数	31名
出席会員	18名
欠席会員	13名
ビジター	0名
2月3日(金)の出席率	93.54%

今週の歌「朧月夜」

菜の花畠(ばたけ)に 入り日薄れ
見渡す山の端(は) 霞(かすみ)ふかし
春風そよふく 空を見れば
夕月(ゆうづき)かかりて におい淡(あわ)し



2016-17年度 国際ロータリーのテーマ

「人類に奉仕するロータリー」

国際ロータリー会長 ジョンF.ジャーム (米国・チャタヌーガRC)

卓 話

「我等の世代 PART IV」

会員 木畑 清



「昭和20年2月4日（ヤルタ会談）」

クリミヤ半島のヤルタでスターリン・チャーチル・ルーズベルトの三者で、戦後の世界体制の話し合いが行われました。

しかし、この時ルーズベルトは死を前にした病人でした。アルバレス病（動脈硬化に伴う微小脳梗塞双発）によって支離滅裂でした。スターリン主導により、対日秘密協定が結ばれました。ドイツ降伏三か月後、ソ連が日本に攻撃するという内容です。

そして、その代償は「ロシアが日露戦争敗北で失った諸権益の復活」でした。それは、（南樺太の返還）（千島列島の引き渡し）でした。ルーズベルトは「とられたものを取り返したいというのは当然の要求ですね」と言ったそうです。後日「対日戦の助っ人の利益に比べれば、千島なんて小さな問題だ」とも語ったそうです。北方四島が千島列島に含まれるか、今もって不明です。

「昭和20年7月26日（ポツダム宣言）」

ベルリン郊外のポツダムにあるツェツィリエンホフ城に於いてスターリン、トルーマン、チャーチルの3首脳が会議を開きました

この時（ルーズベルトはこの世にいませんでした）そして日本への降伏勧告が発せられました。

- 1 ツ 日本軍隊の無条件降伏
- 2 ツ 日本軍国主義の永久追放
- 3 ツ 戦争犯罪人の処罰

他 降伏八条件をあげて「これ以外の日本国の選択は迅速かつ完全なる壊滅あるのみとす」と原爆投下を予告していました。

しかし、日本政府は「ただ黙殺するのみであるこの宣言に重大な価値があるとは考えない」と声明しました。

連合国には、この黙殺（ノーコメント）を reject（拒絶）と報ぜられてしまったのであります。そしてこの事がのちに原爆投下とソ連参戦を正当化する口実に使われるのであります。

又、この時、日本政府はソ連に和平の仲介を頼んでいたのであります。

何をか言わんやである。

会長の時間

会長 中田 学



3月5日(日)～9日(木)国際奉仕活動でタイのロイエットの小学校2校に浄水器の贈呈をしてまいりました。その日の夜にノンケームRCと友好クラブの

1年間お延長と、ロイエットRCと新たに友好クラブの調印をしてきました。地区のガバナームも片道3時間半かけて調印式に出席して下さいました。

「おいしい水は寿命を延ばす」は本当か？

人間は、水がなければ生きていけません。

それもそのはず、体の6割か7割ほどが水分なので。どんな水を使うかによって、おいしいお酒やおいしい豆腐ができるように、おいしい水は健康な体の源だということになります。

では、1日にどのくらいの水が必要なのでしょう。それは、体から出る水分を計算すればわかります。尿として1.5リットル、汗として0.5リットル、そして呼吸によって0.5リットル失われます。つまり合計2.5リットルの水を補給しなければならないというわけです。

日本人の場合、飲み水として1リットル、食べ物から1リットル、食べ物の中の炭水化物などが胃腸の中で消化されたときにできる水が0.5リットルとなっています。

人間、食べ物がなくても数日から数週間は生き延びられますが、たった3日、水をきらただけでも脱水症状を起こして死んでしまいます。体の水分の20%が失われると、もう生きていけません。

とろこで、黒海とカスピ海に挟まれたコーカサス（カフカース）地方、南米のアンデス地方、中国のウイグル地方、山梨県上野原市の綱原地区など、世界には長寿で有名な地方がいくつもあります。

そこに住むお年寄り、いつまでも若々しく元気だとか。長寿の秘密はいろいろありますが、山々に囲まれてミネラルの豊富な雪解け水を1年中飲めるのも、大きく影響していることでしょう。

おいしい空気と、おいしい水。この二つが、何物にもまさる健康食品なのです。

委員会報告

親睦活動委員会

「親睦家族旅行のご案内」

親睦委員長 山ノ内修一



平素は何かとお世話になり誠にありがとうございます。

さて、この度、2016-17年度の親睦日帰り家族旅行を下記のとおり実施することとなりました。帰路は、平成28年9月から運行している観光特急「青の交響曲（シンフォニー）」を利用致します。ラウンジスペースやバーカウンターを備えており、近鉄南大阪線・吉野線沿線の豊かな食の魅力を満喫できるスイーツ、軽食、アルコールなどが車内で購入できます。

皆様、お誘い合わせの上ご参加頂きますようお願い致します。

記

日時 平成29年6月4日（日）
旅行先 奈良県吉野郡吉野町
集合 6月4日（日）午前9：20
近鉄大阪阿部野橋駅西改札口前
会費 10,000円（電車代、食事代含む）
締切 平成29年4月21日（金）



備考：「青の交響曲」は定員30名です。

参加希望者が多い場合は、女性優先で決めさせていただきますのでご了承下さい。



広報委員会

「大仙公園の河津桜・今が満開」

広報委員 池田茂雄



当クラブは、現在、創立37年目を迎えておりますが、今から7年前の真冬1月に「創立30周年記念事業」として、第16代仁徳天皇陵の南向いにあります「大仙公園・いこいの広場」に樹齢5～6年ものの河津桜

10本を植樹寄贈させて頂き、堺市長より感謝状をいただいております。この桜の植樹時期は真冬が最適ということで一番寒い1月の時期に植樹をいたしました。

この河津桜は静岡県河津町の原産で毎年2月上旬から3月中旬までの1ヶ月あまりに亘って咲く早咲き桜として知られております。およそ10メートル間隔で植樹された10本の河津桜ですが、すくすくと育ち10本とも今が満開で訪れる人たちに、ひと足早い春の訪れを感じさせてくれております。広い範囲にわたっての植樹ですが、このうしろ側の隣接地には、4月初旬から咲き始める「ソメイヨシノ」を中心とした桜が2千本ちかくあり同公園の桜の名所となっております。

やっと樹齢12～13年となった河津桜、今はまだまだ小さいですが、これから年を重ねながら、もっともっと大きく成長をつづけて人々の眼を楽しませてくれることでしょう。

◇ 満開の河津桜(2017年3月12日撮す)



国際奉仕委員会

「2016-2017年度国際奉仕活動 報告書」

国際奉仕委員長 池永隆昭



下記日程にてタイへ国際奉仕活動に行ってきました。

初日は、チャオプラヤ川の船上にてノンケームRCとの友好を深めました。

2日目ロイエットへ行き、小学校2校で浄水器の贈呈式を行いました。夜はロイエットRCとノンケームRCとの合同例会に参加し、友好クラブの締結をしました。

3日目 ロイエットからムクダハーンまで行き、税関で現地RCから説明を受けタイラオス間に架かる橋(日本のODAで作られたようです)を見学し 以後帰路へ。

参加された会員様お疲れ様でした。打合不足もあり大変厳しいスケジュールとなり、申し訳ありませんでした。また、不手際も多々あったと思います。

お詫び申し上げます。

日時：2017年3月5日（日）～9日（木）
浄水器寄贈場所：タイ ロイエット
Banporyai school (生徒数 226名)
Aubanmaungpamomprai school (生徒数 782名)

社会奉仕委員会

「春の交通安全運動のお知らせ」

社会奉仕委員長 藤永 誉



会員の皆様には日頃より社会奉仕委員会の活動にご協力頂き、有難うございます。さて、下記の通り、恒例の春の交通安全運動が行われます。会員の皆様は万障繰り合わせの上、ご参加頂きます様をお願いします。

記

日時：平成29年4月6日（木）16：30～17：30
場所：堺地方合同庁舎前広場（堺市役所 隣）
※ジャンパー・帽子 着用お願い致します。（メイクアップになります!）

ニコニコ(3月3日)

中田 学会員 国際奉仕でタイに浄水器の寄贈をして参りました。5名の皆様御苦
労様でした。
那須宗弘会員 タイでお腹を壊してご迷惑をおかけしました。
城岡陽志会員 不動産の取得に負けました。
徳田さん、坂田さん、中田さん、御世話になりました。神様はなぜ、善
良な市民を捨てるのか。アーメン。
徳田 稔会員 和歌山県立医科大学医学部現役合格。私ではなく私の孫です。
嶽盛和三会員 タイ・国際奉仕ご苦労様でした。
ちゃんこ会欠席しました。申し訳ありませんでした。
藤永 誉会員 本日は、嫁さんの誕生日でお花をありがとうございます。

合計 20,000円

幹事報告(3月3日)

- (1) 今週の配布物 週報・卓話資料
- (2) 幹事報告

①2019-2020年度国際ロータリー第2640地区 ガバナーノミニー確定宣言
RI細則14.030.14.030.1に従い、2019-2020年度ガバナーノミニー候補者推薦につ
いて、2017年1月27日に地区内クラブへ通知し、2017年3月4日締切いたしました。
期日までに1クラブより推薦がありました。クラブから推薦された候補者が1名
のみの場合は投票を要しないものとし、その候補者をガバナーノミニーとして公表す
るものとします。以上から、堺東ロータリークラブ 中野均氏を国際ロータリー第
2640地区2019-2020年度ガバナー候補者とすることに確定いたしましたので、ここ
に宣言いたします。

・ガバナー就任年度 2019-2020年度

- ・氏名 中野 均 (なかの ひとし)
- ・所属クラブ 堺東ロータリークラブ
- ・生年月日 1955年7月2日
- ・職業分類 不動産賃貸
- ・ロータリー略歴

1994年6月 堺東RC入会堺東ロータリークラブにて
SAA・各種委員会委員長・各種理事・役員
2012-13年度会長を就任

第2640地区にて

2007-2009年度ロータリー財団委員会委員

2009-2010年度ロータリー財団奨学会 小委員会委員長

2015-17年度ロータリー財団委員長

②3月31日(金)の例会は定款第6条第1節により休会です。お間違いなきようお願い申し上げます。



第30回米山功労クラブ
会員の皆様、おめでとうございます

国際奉仕活動タイ浄水器寄贈





女性会員が国際女性デーに人道奉仕のストーリーを紹介

世界の反対側に住む人たちの生活をより良くするために活躍する3人のロータリー女性会員がいます。彼女たちにインスピレーションを与えるものは何なのでしょう。

ザブリ教育センター創設者・所長のラジア・ジャンさん。国際女性デーで彼女の活動が称えられました。世界銀行がワシントンD.C.の本部で3月8日に主催した「国際女性デー」の祝賀行事で、3人の女性会員がこの質問に答えました。

ラジア・ジャンさん、デボラ・ウォルターズさん、アン・リー・ハッシーさんは、300人の聴衆とライブ中継を視聴した何千もの人たちの前に、それぞれの活動（アフガニスタンでの女子のための学校建設、グアテマラシティのゴミ捨て場に住民らへの支援、アフリカとアジアでの予防接種活動）にまつわるストーリーを紹介し、活動のインスピレーションについて語りました。

「学んでいる子どもたちの顔、権利や夢を求めて立ち上がる人たちの姿、特に、不可能だと思われるようなことに立ち向かい、夢を持つとする人たちの姿にインスピレーションを覚えます」と話すのは、ダクスベリー・ロータリークラブ（米国マサチューセッツ州）のジャンさんです。

アフガニスタン出身で現在は米国に住むジャンさんは過去数十年間、アフガニスタンの若い女性や少女たちの生活改善を支援する活動を通じて、アフガニスタンと米国の橋渡し役となってきました。

アフガニスタンのDeh' Subz 群の625人の少女が通う学校、「ザブリ教育センター（Zabuli Education Center）」の創設者で所長を務めるジャンさんは、2015年にこの学校の第一期生が卒業し、近々、女子大学が開校する予定であると話しました。

この女子学校では、数学、英語、科学、テクノロジーのほか、厳しい社会環境の中で経済的自由を達成するための方法も教えています。

ユニティ・ロータリークラブ（米国メイン州）会員で神経科学者のウォルターズさんは、グアテマラシティのゴミ捨て場に住民ら子どもやその家族に教育や社会的サービスを提供する非営利団体、「Safe Passage」で長年ボランティア活動をしてきました。

「カヤックのおばあちゃん」としても知られるウォルターズさんは、現地の窮状への認識を高めるため、自宅がある米国メイン州からグアテマラまで、小さなカヤックで旅したことがあります。

ポートランドサンライズ・ロータリークラブ（米国メイン州）のハッシーさんは、ポリオ撲滅とポリオ元患者の苦しみを和らげることをライフワークとしてきました。

自身もポリオサバイバーであるハッシーさんは過去14年間、全国予防接種日に参加するために、ロータリアンのチームを率いて発展途上国を訪れてきました。

ハッシーさんは通常、西洋人をあまり見かけない国（バングラデシュ、チャド、マリ、ニジェール、ナイジェリア、エジプトやインドの僻地など）を活動場所として選びます。このような場所ほどニーズが大きく、現地訪問による広報効果と親善こそが予防接種の緊急性を訴える上で大変重要だからです。

世界銀行のGroup Staff Association 委員長であるダニエル・セレンさんは、この3人の女性について次のように話します。「私たち世界銀行は、1世代で極貧を終わらせ、人類共通の繁栄を目指して、日々活動しています。

……これらの女性はまさに、世界を変え、教育・経済発展・保健で革新的かつインパクトの大きなプロジェクトを通じて人びとの生活をより良くできる女性のパワーを身をもって示しています」

